

月例研修会(岐阜)レポ

岩村城、赤沢自然休養林

戸田 博子

10月7~8日、月例研修一泊旅行があった。

岐阜県恵那市の岩村城と長野県木曾郡の赤沢自然休養林への一泊旅行だ。よく知っている仲間ではあるが、旅行はならやま活動以外の人柄を知ることができる。

さて7日は雨の予報だったが、時々薄日が差す曇天で、岩村城をめざして出発した。岩村城は大和の高取城と備中松山城と並ぶ日本三大山城の一つに数えられる名城だ。

標高717mの山城は、往復1時間は歩かなければならない。歩くのに大変な仲間もいる。岩村の街並み散策組と坂も頑張れる登攀(?)組に分かれた。



杉、桧をぬうように石段を登ること30分、開けた天守閣跡に着いた。私たちのグループ以外、人はいなかった。歴史に詳しいメンバーからお話を伺いながら、戦国時代から安土桃山時代にかけて生きた、織田信長の叔母にあたる女城主おつやが辿った人生などを各自思い描いて



いたのではないだろうか。

その後下山し、岩村の街並み散策組と岩村醸造へ全員集合した。

酒蔵の歴史を社長よりお話を聞き、町の歴史と共につないできた酒を試飲。ソフトクリームを食べるメンバーもいた。小さいながらも、昔の繁栄を思わせる街並みを各自のペースで歩いた。その後、今日の宿泊地、昼神温泉「ひるがみの森」へ向かった。

8日は、昨夜の雨で道が濡れていた。赤沢自

然休養林がうまく歩けるか不安になりながら、出発した。少し北に移動しただけだが、道も乾き、曇り空で赤沢に到着。晴れ女が沢山いる?



伊勢神宮神木伐採跡地

赤沢地域は日本最初の「自然休養林」に指定され、「森林浴発祥の地」と言われている。休養林の中は、森林鉄道の他に8つの散策コースがある。ここでも鉄道乗車組と散策組に分かれた。



<乗車券木札>

乗車組は8名で森林鉄道貸し切りだった。

散策組は赤沢の代表的な道「駒鳥コース」を歩いた。ヒノキやサワラの大樹があり、伊勢神宮御神木伐採跡地を見ることが出来た。紅葉には少し早かったが、木についている名札を見ながら確認し、木曾五木を見つけながら歩いた。集合場所に帰る頃は、雨がかなり降ってきたが時間通りスタート地点に戻った。

昼食は、寝覚ノ床に近い五平餅で有名なお店へ行った。私たちで満員になるような小さな食堂だが、五平餅はおいしく、10人以上の方がお土産として買われた。

最後は、木曾路の馬籠宿へ行く予定だったが雨も激しくなり、石畳の道を歩くのも大変と判断し、残念だがバスの窓から眺めながら通過することになった。

バスの中では、頭の活性を図る「漢字読み方」クイズで盛り上がった。そして歌カードが配られ、みんながよく知っている「昭和の詩」を大合唱。最後まで、楽しく元気な研修旅行だった。